

スマート・エネルギー・セミナー

2月24日(月)午後4時から6時まで、当館はジャマイカ石油公社(PCJ)との共催でジャマイカ政府要人、企業幹部向けのCEOセミナー「Smart Energy Island」をPCJにて開催しました。当日は、外務貿易省のブラウン副大臣など、ジャマイカ政府高官および企業幹部、マスコミ関係者等75名が出席し、メインスピーカーのダン・ビン氏(米国ビン・システムズ代表)によるプレゼンテーションを熱心に聞き入っていました。ダン・ビン氏は、国際交流基金のプログラムによりジャマイカを訪問しました。

セミナーでは、PCJのカーギル会長、高瀬大使による開会の挨拶に続き、当館の小山書記官が東日本大震災からの復興とスマート・エネルギー関連のプロジェクトについてのプレゼンテーションを行いました。その後、ダン・ビン氏による講演が行われ、その中で、東日本大震災の時の電力事情などを説明しつつ、21世紀のスマートグリッドの姿やスマート・エネルギーに対する日本の消費者動向、企業動向が紹介され、ジャマイカでどのような形のスマート・エネルギーが導入できるか、についての考えが述べられました。講演後、会場の参加者との間で質疑応答が行われ、また、終了後も熱心に講演者と意見交換を行っていました。



PCJ カーギル会長挨拶



熱心に聞き入る参加者